

ID No.	S102
研究課題名	造血幹細胞の成熟・増殖を支えるマウス胎仔肝ニッチの同定
研究代表者	横溝 智雅 (熊本大学・特任助教)
研究組織 受入教員 研究分担者	田中 洋介 (東京大学医科学研究所・助教)
<p>研究報告</p> <p>本研究は、申請者らが最近開発したレポーターマウス (<i>Hlf-tdTomato</i> マウス) を利用し、造血幹細胞の成熟・増殖を促す胎仔肝内ニッチを同定することを目的としている。</p> <p>まず、<i>Hlf-tdTomato</i> マウスにおける tdTomato の発現パターンを知るために、FACS、移植実験を用いた解析をおこない以下のことを明らかにした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・造血幹細胞は、tdTomato 強陽性分画に含まれる。 ・成熟過程の造血幹細胞は tdTomato 強陽性分画に含まれる。 <p>以上の結果は、胎生 11-12 日目の胎仔肝における tdTomato 強陽性細胞の局在を調べることで、造血幹細胞の成熟を促すニッチの同定が可能になることを示している。</p> <p>また、3D イメージングにおいて鮮明な tdTomato 染色像を得るためには、シグナルノイズ比の大きな抗体を選択することが重要である。tdTomato に対する 1 次抗体、2 次抗体ともに選別を終え、イメージングへの準備を整えた。</p>	